

地域連携 だより

彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地

TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室

TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

いつもありがとうございます

骨粗鬆症の予防と
継続した治療で
健康寿命を延ばしましょう！

人工関節センター所長
整形外科部長
角田 恒



日頃より地域医療連携室を通し、当院整形外科にご紹介いただき誠に有難うございます。

人工関節センターも昨年10周年を迎え、2023年12月には最先端医療である人工膝関節支援ロボット(CORI)を滋賀県で初めて当院で導入し、開業医の先生方をはじめ地域連携に関わる多くの方々のご協力いただきながら症例数は年々増加傾向にあります。インプラントや手術手技の向上により、人工関節の耐久年数も20年以上の安定した長期成績が報告されております。超高齢化社会となった日本において、人工関節は患者さんが自分の脚で歩き続けるために重要な役割を担っています。一方で高齢者の骨折は増加の一途をたどり、その中には人工関節後のインプラント周囲での骨折も含まれています。

もともと元気に歩いていた患者さんや、脊椎手術や人工関節を受け歩行能力が改善

した患者さんが、ひとたび脊椎や下肢の骨折をきたすとADL低下を引き起こす原因となってしまう。

当院では大腿骨近位部骨折後の患者さんに対して二次性骨折予防として骨粗鬆症治療に取り組んでまいりましたが、年々増加する高齢者の骨折治療、脊椎手術、人工関節をさせていただく中で、患者さんのさらなる機能維持のためには骨粗鬆症治療や検診による骨折予防に積極的に取り組む必要があると考え、6月より骨粗鬆症外来を開設することといたしました。

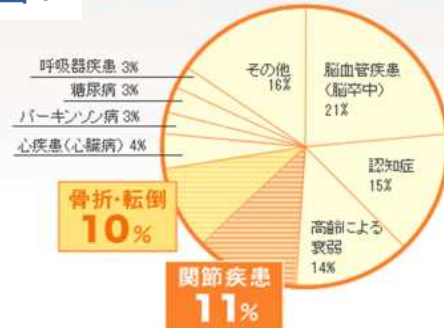
骨粗鬆症予防は地域連携なくして成り立つものではなく、湖東地域の先生方とより強固な連携をさせていただき、その連携が患者さんのADLを保つ、未来を変えるものとなることを願っています。

<骨折・関節疾患は寝たきりの原因&生存率も低下！>

骨折・関節疾患を軽く見てはいけない！

日本は世界でも有数の長寿国となりましたが、自立して生活できる期間（健康寿命）を伸ばしていくことが我々整形外科医の使命です。実際介護が必要となる原因として関節疾患と骨折を合わせると脳血管疾患と同程度となります。（図1）

図1 要支援・要介護となった原因疾患



人工関節ライフ (http://kumsetsu-life.com/comm_data/8_all.html#13_03)

当院での大腿骨近位部骨折の手術件数は増加しており、全国的にも大腿骨近位部骨折の発生数は今後増加し続けると予想されています（図2）

当院での大腿骨近位部骨折の手術件数の推移

■人工骨頭 件数 ■骨折観血的手術 件数

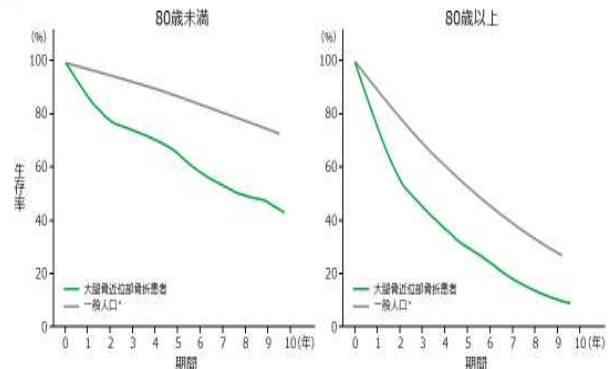
図2



大腿骨近位部骨折有無別の10年間生存率 図3

大腿骨近位部骨折を起こした患者さんは生存率が低下します

■ 大腿骨近位部骨折有無別の10年間生存率



*一般人口：年齢、性別、大腿骨近位部骨折した時期をマッチさせた集団

方法：1992年1～12月に、大腿骨近位部骨折の治療を行った50歳以上の患者1169例のうち本研究に参加した753例（男性：191例、女性：562例、平均年齢：78.2歳）について生存率を調査した

Tsuboi M, et al.: J Bone Joint Surg. Br. 89(4), 461-466, 2007

大腿骨近位部骨折は患者さんのADLを低下させるだけでなく生存率も低下させることが報告されています。（図3）

これらのことから骨折の原因となる骨粗鬆症の治療は非常に重要ですが、1,300万人にも達すると考えられているわが国の骨粗鬆症患者のうち、骨粗鬆症治療薬を処方されている割合は20～30%と治療介入率が低いのが現状です。

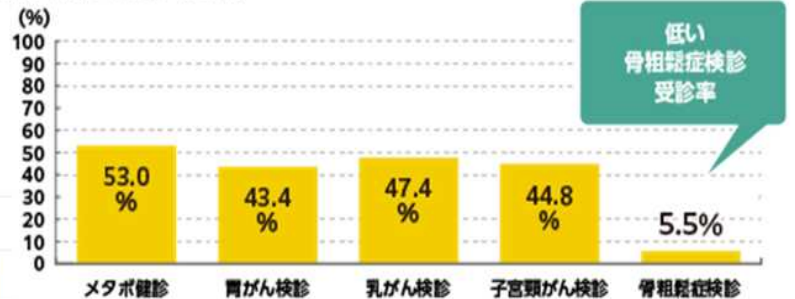
<骨粗鬆症検診の現状>

滋賀県の骨粗鬆症の検診率はとても低い！

骨粗鬆症による脊椎圧迫骨折、大腿骨近位部骨折は増加する一方で**骨粗鬆症の検診率は他の検診率に比べて非常に低い**のが現状です。（図4）

公益財団法人
骨粗鬆症財団
JAPAN OSTEOPOROSIS FOUNDATION

図4 健診・検診の受診率比較



※メタボ健診(女性40～74歳)：厚労省「2022年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況について」
※がん検診(過去2年間に受診した女性40～69歳)：厚労省「2022年国民生活基礎調査」

図5 各都道府県の骨粗鬆症検診率



さらに**滋賀県は他県と比べ検診率が非常に低い**と報告されています。（図5）

【湖東地域のすべての診療科の先生方へ】
骨粗鬆症は生活習慣病や婦人科疾患などあらゆる病気との
関連が指摘されています。
骨粗鬆症治療・予防・検診率向上に是非ともご協力ください。

～彦根市立病院整形外科からのお知らせ～

令和7年6月から
骨粗鬆症外来ははじめます

高齢者の骨折は増加する一方で骨折予防、骨粗鬆症検診率は低いのが現状です。そこで当院としては令和7年6月より毎月1回骨粗鬆症外来を開設することといたしました。

毎月第1水曜日



<基本的なご紹介の流れ>

地域連携より当院骨粗鬆症検査(DEXA)予約
(他院で検査を受けられている方は不要です)

検査結果参考いただき骨粗鬆症外来予約

※受診当日検査も可能ですが枠に限りがあるため受診前の検診をお願いいたします。

<対 象> ・検診結果で骨密度が低い方
・骨粗鬆症治療をしているが変更等の相談
・年1～2回の定期フォロー

湖東地域の骨折予防・骨粗鬆症検診率UPに
是非ご協力下さい

骨粗鬆症外来の予約方法

毎月第1水曜日
※午前中のみ(完全予約制)

ご紹介の際は
地域医療連携室を通じて
予約をとっていただきますよう
お願いします！

※web予約には対応していません。

New Face! 新任医師紹介



このたび新しく彦根市立病院で働くことになりました。皆さまよろしくお願ひいたします。

①大学卒業年②専門分野③所属学会④出身地⑤自己PR⑥地域の先生方へ一言



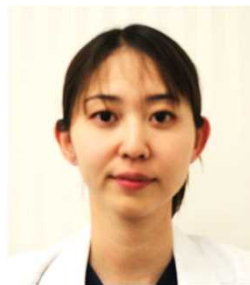
血液内科
こもり ゆきこ
小森 友妃子

- ① 2012年 兵庫医科大学
- ② 血液内科
- ③ 日本内科学会、日本血液学会
- ④ 滋賀県 彦根市
- ⑤ 内科、血液内科、緩和ケア領域で貢献できるように頑張ります！！
- ⑥ 育った地へ恩返しできるように頑張ります。



麻酔科
みやざき なるみ
宮崎 成美

- ① 2015年 福井大学
- ② 麻酔科
- ③ 日本麻酔科学会、臨床麻酔学会
- ④ 滋賀県
- ⑤ 良き医療を提供できるように努めます。
- ⑥ 地域の医療に貢献できるように頑張ります！宜しくお願い致します！



形成外科
よしだ ゆか
吉田 侑加

- ① 2018年 関西医科大学
- ② 形成外科
- ③ 形成外科学会
- ④ 大阪府
- ⑤ 様々な疾患を学び、知識を生かした診療を。
- ⑥ 未熟者ではありますが、地域貢献し、安心できる医療を提供していきたいです。



整形外科
こばやし りょう
小林 遼

- ① 2019年 岐阜大学
- ② 整形外科
- ③ 日本整形外科学会
- ④ 岐阜県
- ⑤ バレーボールが得意です！一緒にしませんか？
- ⑥ 湖東地域の医療に貢献できるよう、精進させていただきますので宜しくお願いします。



整形外科
ほり せいや
堀 聖弥

- ① 2021年 山口大学
- ② 整形外科
- ③ 日本整形外科学会
- ④ 岐阜県
- ⑤ 丁寧な診療に努めます
- ⑥ 幼少期を過ごした彦根に戻り、地域に貢献できるように頑張っています。



糖尿病代謝内科
はなふさ みつさと
華房 光叡

- ① 2023年 関西医科大学
- ② 糖尿病代謝、内分泌内科
- ③ 日本内科学会
- ④ 滋賀県
- ⑥ 湖東地域の医療に貢献できるよう努力いたしますので宜しくお願いいたします。